

産業廃棄物処理業における掘削用機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	6~7	構内で焼却炉のメンテナンス中に焼却炉のゆがみを直そうとした時、誤って焼却炉の部品が飛んできて負傷した。	23	1~9
2	16~17	当社工場作業所内において、オペレーターはパワーショベルを使って収集ごみの整理処理中、突然同重機エンジンがオーバーヒートにより異音と共に停止してしまった。このため停止後、約30分程度経ったところで重機補助作業員はラジエーターに水の補給を考えながら、ラジエーターの蓋に触った途端に上記が噴き出て両手甲部に蒸気があたり火傷を負ったものである。	41	10~29
4	16~17	資材置き場でワイヤを鉄箱に入れている時、近くで作業していた重機が鉄スクラップに接触し、鉄スクラップが落下した。それを避けようとして、地面に頭と肩を打ってしまった。	70	1~9
7	12~13	作業場内にて（相手方）が重機操作で廃棄物をフレコン袋に詰め込む作業をしている時（被災者）はフレコン袋から廃棄物のはみ出ているのに気付き、左手でフレコン袋の中へ押し込んでいた。（相手方）は（被災者）の作業がフレコン袋に詰まった廃棄物が死角になり見えず、十分に確認をしなかったためそのまま重機の爪をフレコン袋に差し込み（被災者）の左手を挟んでしまった。	47	10~29
7	9~10	自社工場内で、移動のため重機（0.1?ミニコンボ）を操作中、重機から降りる際にキャタピラから排土板へ移ろうとして不注意で足を滑らせた。排土板の隙間に右足が入り、バランスを崩して地面に倒れ込み、右足を捻った。	47	10~29
11	13~	園児が片付けをし帰る為、保育室出入口で待っている時、1人の子の忘れ物が机にあることに気付いたので知らせる為、駆け寄ろうと右足を一步踏み出した。そこ	54	50~

	14	へ向かってくる子と当たりそうになったのを避けた際、右足つま先が床に引っ掛かり左前方へ転倒し負傷したものである。	99
12	11~12	中間処理工場内にて、北ヤードの残土ステージから、重機を下ろそうとして、腕を伸ばして降りる体勢をとり、降り始めたとき、重機キャビン内で、被災者自身がその重機の傾斜により体のバランスを崩して、窓側へ倒れかけた。その際、重機のレバーが体の一部にあたり、そのレバーの運動により重機のアームが旋回した。その結果、下降中の重機がバランスを崩して転倒し、その際、被災者は頭と腰部を打ち被災した。	64 100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html